歯周組織再生療法学特論（児玉利朗）

Advanced Course of Regeneration Therapy of Periodontal Tissue (Toshiro Kodama)

キーワード

① 歯周組織の特性
② 歯周組織の治癒様式
③ 歯周組織再生療法の基礎概念
④ 再生療法における生体材料（スキャホールド）
⑤ 生理活性物質（サイトカイン）

授業概要

歯周組織再生療法について、歯根膜・歯槽骨・上皮・結合組織の役割について解説し、スキャホールド・サイトカインについて基本的な知識を講義する。さらに、歯周組織再生における骨膜の役割について考察する。また近年、歯周組織の再生様式や再生環境、使用される生体材料についての研究は日進月歩であり、最新の情報を解説する。特に歯周組織の再生様式や再生環境に関与する細胞の理解、生体材料の基本知識と応用（メンブレン、人工骨移植材、サイトカイン）を講義する。

授業科目の学修目標

歯周組織の特性ならびに歯周組織治癒様式について細胞レベルでの理解を含め、歯周組織再生療法の礎概念の十分理解する。さらに、再生療法に応用される生体材料や生理活性物質について理解できること。

授業計画

① 歯周組織の特性　6コマ　児玉利朗
② 歯周組織の治癒様式　6コマ　児玉利朗
③ 歯周組織再生療法の基礎概念　6コマ　児玉利朗
④ 再生療法における生体材料（スキャホールド）　6コマ　児玉利朗
⑤ 生理活性物質（サイトカイン）　6コマ　児玉利朗

教科書および参考書

Color Atlas of Periodontology（ラタイチャーク）

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

歯周組織再生療法学特論では、授業科目に応じた最新の文献検索、歯周組織再生療法の修得ならびに理解が必要である。

大学院生が達成すべき行動目標

① 歯周組織の特性が説明できる。
② 歯周組織治癒様式について細胞レベルで解説できる。
③ 歯周組織再生療法の変遷と基礎概念の十分理解できる。
④ 生体材料の分類役割が開設できる。
⑤ 生理活性物質の背景が理解できる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	その他
30%	0%	30%	0%	0%	40%	0%

評価の要点

・試験は講義内容の理解度ならびに基礎知識を確認する。30%
・レポートは関連する文献検索のレベルを評価する。30%
・口頭試問で基礎知識の確認とディスカッション能力の確認。40%

理想的な達成レベルの目安

歯周組織再生療法学特論では最低70%以上を達成目標とする